


# 「つなげよう、支えよう森里川海」プロジェクト活動報告

活動日 令和2年12月15日～令和3年3月13日

活動名	舟岡山再生プロジェクト	
活動団体名	NPO 法人 あおぞら	
活動目的	<p>展望所を該当地の山の一区画に造ること。</p> <p>展望所への既存の道周りの枝処理、落ち葉処理により、少しでも登頂者を増やし、自然景観(川 国指定史跡天霧城跡 田 畑)を愉しんでいただくことにより、観光振興の町の一つの拠点とする。</p>	
活動内容	<p>眺望をよくするため、雑木、倒木、落ち葉処理。</p> <p>展望所を造る。</p> <p>地元 CATV の取材を受け、山の荒廃問題の投げかけ実施。</p>	
活動写真		
写真説明	雨(天)霧山を望む展望所の設置	人々が集う魅力ある場所に(スタート時)
活動効果	<p>地元(旧ムラの方々の考えが放置)の方々との合意形成がなかったこと、最小自治体から山の荒廃、崖地処理は地主責任であり、環境保全の窓口は無いとの文書回答の存在が明確になったこと。これらから長期対応として新たな確固たる地元のメンバー構成が必要と判断しました。負の因子ではありますが、別の切り口で進める必要が解り、短期ではありましたが、大きなソフト面把握の効果は大です。</p> <p>NPO 法人あおぞらの活動分野のメインは福祉であり、不慣れ・土地勘が無かったことと、<b>展望所を造る目的</b>で時限のある町の観光政策補助金を使途したため、一部の眺望をよくするという事に執着してしまい、山の近郊の方、一人ひとりとのソフト面の醸成が上手くいきませんでした。しかし、一部の<b>倒木処理、雑木の伐採処理、落ち葉処理は大きく進みました</b>。ソフト面の醸成が上手くいかなかったことは私こと亀山の故郷の地かつこの山の一区画の地主でもあり、わたしの責と思います。中期的なスタンスを持って、今後の展望を見出しました。</p>	
今後の展望	<p>新たに地元主体の山の主たる地主と地元と経済団体との連携で地域協議会組織化準備中。森里川海プロジェクト趣旨を第一義に置きたいため、香川県担当部局と連携を持ちながら、核となる組織を変更中です。変更完了次第にローカル SDGs 四国に入会予定です。</p> <p>舟岡山<b>未来</b>プロジェクト名称に変更します。(よって NPO あおぞら理事辞退。) 別途、同山の別区域の危険木を私も含めて、地元有志にての処理の直前期です。</p>	